

サッカー・ワールドカップ(W杯)日本代表の活躍に日本中が熱狂した。ベスト16という快挙を成し遂げた日本代表。大会前の評価は決して高いものではなかったが、見事下馬評を覆し、私たちに夢と希望を与えてくれた。「ベスト4」実現のためにも4年後のブラジル大会に向けて、これからの日本サッカーに期待したい。私たちも一緒に夢と希望を追いかけていきたい。一方、現実の社会に目を向ければ、残念ながら夢も希望も持てない話が連日テレビや新聞をにぎわしている。政権交代は果たしたものの、早々に首相が代わり、

SPORTS MUST CHANGE

谷塚 哲



私たちの約束事(マニフェスト)がごとごとく果たされない。それを選んだのは国民だ、と言っのならば、これから国民は何を信じていいのだろうか。

これは、なにも政治だけではない。日本スポーツ界

から、今までそうやってきたから。そんなことは一切理由にはならない。

なぜ、日本のスポーツ界は、新しいことはなかなか取り入れようとしないのに、あしきことだけは延々と引きずるのだろうか。

ダルの獲得が決してスポーツの振興にはつながるわけではない。

やらなければならぬのは、すそ野の底上げ(普及や育成)なのである。そして、最終的にはスポーツの価値を上げ、日本においてスポ

夢・希望壊した愚行

も開いた口がふさがらない。日本相撲協会のここ数年の不祥事、とどめは今回の賭博問題。賭博は野球の独立リーグにまで及んでいた。これはスポーツ界にはびこる甘えでしかない。そういう伝統だから、風習だ

日本のスポーツ界は今、古い日本的スポーツ観を一新しなければならぬ時である。もう企業や行政に頼る時代ではない。自らのスポーツ環境は自分たちで作り上げ、継続させていかなければならない。また、メ

スポーツを文化にしていかなければならないのである。そのため、ひとりでも多くのスポーツファンを増やすための努力をしていかなければならないこの時期に明るみに出た今回の不祥事は、どちらも日本を代表す

るスポーツだけに、スポーツの価値を著しく低下させた罪は非常に大きいと言わざるを得ないだろう。

スポーツは人々に夢や希望を与えることができる。今回のW杯の熱狂も国民の夢と希望の表れだろう。スポーツの価値とは夢や希望を皆で語れることなのである。だからこそスポーツにかかわる者は、その夢や希望を壊してはいけない。それだけ国民のスポーツへの期待は大きいのである。その使命は重責だが、光栄なことなのである。

(REGISTA有限責任事業組合代表)

隔週土曜日掲載